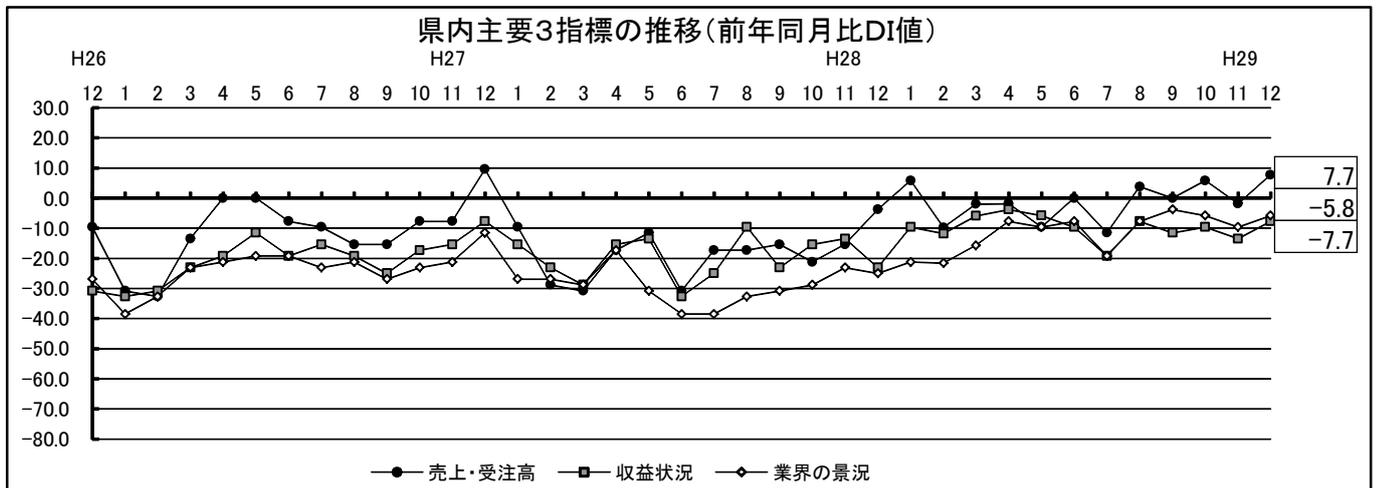


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成29年12月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 12月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「業界の景況」が上昇し、「設備操業度」「雇用人員」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より9.6ポイント上昇の7.7ポイント、「収益状況」が5.8ポイント上昇の-7.7ポイント、「業界の景況」が3.8ポイント上昇の-5.8ポイントであった。
- 前月比では主要3指標をはじめ多くの数値が上昇となったものの、いまだ回復途上であり、天候不順や国内外の経済情勢の変化などにより再び悪化に転じかねない状況である。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	7.7	9.6	-0.1	2.8
収益状況	-7.7	5.8	-11.7	2.4
業界の景況	-5.8	3.8	-11.5	3.5

売上・受注高

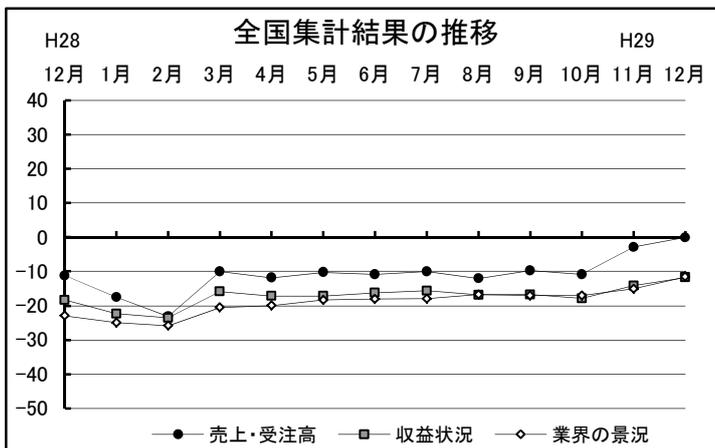
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より9.6ポイント上昇の7.7ポイントとなった。全国においては、前月より2.8ポイント上昇の-0.1ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より5.8ポイント上昇の-7.7ポイントとなった。全国においては、前月より2.4ポイント上昇の-11.7ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より3.8ポイント上昇の-5.8ポイントとなった。全国においては、前月より3.5ポイント上昇の-11.5ポイントとなった。



-概況-

12月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「収益状況」「業界の景況」が上昇し、「設備操業度」「雇用人員」が下降した。主要3指標は、「売上高」が前月より9.6ポイント上昇の7.7ポイント、「収益状況」が5.8ポイント上昇の-7.7ポイント、「業界の景況」が3.8ポイント上昇の-5.8ポイントであった。前月比では主要3指標をはじめ多くの数値が上昇となったものの、いまだ回復途上であり、天候不順や国内外の経済情勢の変化などにより再び悪化に転じかねない状況である。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中3業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で6業種中3業種が上昇、2業種が低下した。「収益」は製造業で1業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で2業種が上昇、1業種が低下した。「景況」は製造業で1業種が低下し、非製造業で3業種が上昇した。

数値のみに目を向けると、上昇・回復傾向にあるように見てとれる結果となった。しかし、多くの企業で人手不足に直面しているとの声を聞くなど、人手不足の深刻化による機会損失等の悪影響が懸念される。中小企業の設備投資等を促す2018年度税制改正が、景気にプラスに働くことに期待する。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	△	△	△	△	△	△	△	△
繊維・同製品	△	△	×	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	△	△	△	△	○	△	○	△	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	○	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	○	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	△	△	△	×	△	—	△	△
サービス業	○	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	○	—	△	△	○	△	—	△	○
その他	△	—	○	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0	-25.0
繊維・同製品	-25.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	-25.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	0.0	25.0	0.0	0.0	50.0	-25.0	50.0	-25.0	-50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	50.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0
一般機器	0.0	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	0.0	-4.0	-4.0	-4.0	-4.0	-12.0	8.0	-8.0	-12.0
卸売業	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0		0.0	33.3
小売業	-42.9	-14.3	14.3	-14.3	-57.1	-28.6		14.3	-28.6
サービス業	50.0		0.0	-16.7	0.0	16.7		16.7	0.0
建設業	0.0		0.0	0.0	-20.0	0.0		0.0	-20.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	50.0
その他	0.0		50.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	14.8	0.0	11.1	-3.7	-11.1	-3.7		7.4	0.0
全体	7.7	-2.9	3.8	-3.8	-7.7	-7.7	8.0	0.0	-5.8

	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	前月比
売上高	-3.8	5.8	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	3.8	0.0	5.8	-1.9	7.7	9.6
在庫数量	-22.9	-14.3	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	14.3
販売価格	0.0	3.8	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	-1.9	3.8	5.8
取引条件	-3.8	-1.9	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	1.9
収益状況	-23.1	-9.6	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	5.8
資金繰り	-5.8	-3.8	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	0.0
設備操業度	-8.0	-8.0	0.0	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0	8.0	-12.0
雇用人員	-3.8	-3.8	-5.9	2.0	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0	-1.9
業界の景況	-25.0	-21.2	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	3.8

図表3～【指標別DI値の推移】

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-50.0	-25.0	0.0
繊維・同製品	25.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0
木材・木製品	0.0	100.0	0.0	0.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
製造業	8.0	20.0	4.0	-4.0	4.0	-4.0	-12.0	-4.0	-4.0
卸売業	66.7	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0		0.0	33.3
小売業	-28.6	0.0	14.3	0.0	-14.3	-14.3		14.3	14.3
サービス業	50.0		0.0	16.7	33.3	16.7		-16.7	16.7
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	20.0		0.0	0.0
運輸業	0.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	11.1	0.0	7.4	7.4	7.4	3.7		0.0	11.1
全体	9.6	14.3	5.8	1.9	5.8	0.0	-12.0	-1.9	3.8

特記事項

情報連絡員報告（平成29年12月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	どの業種も同じだが、人材の不足が大きな問題になっている。中小企業には、先を予定しての人の採用が厳しい。また、最低賃金が上がり、人件費もアップしている。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	業界内では冬物の製品は比較的好調と伝わってくる。当組合でも近年の中では機械の稼働が期待できるのではとの声がある。 年末までの動きも近年の不振から見れば、まずまずといったところ。新年から受注が増えることを期待したい。
一般製材業	昨年に比べれば12月の加工坪数は多くなったが、11月が非常に悪かった為、資金繰りは良好とは言い難い。1月・2月の動向もあまり好ましい話はなかなか聞こえてこない。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格など厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	砕石、土質関係は増加傾向であるが(圏央道工事等による)、石灰質肥料の出荷(特に量販店及び肥料商への出荷)が大きく減少しているため、均すとほぼ昨年並みに推移している。オリンピック関連による石灰の動きはまだない。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車部品関連…自動車関連は昨年あたりから上向き基調。スバルの無資格検査問題については、CMの自粛はあるが、下請け企業には影響はない様子である。1月についても今のところ受注の変化はない。 ・機械設備関連…半導体、自動車プレス関連は好調。他業種については横ばいか。 ・プレス金型関連…自動車部品関連は、普通車、軽自動車とも引き続き穏やかに上向いている。
一般機械器具製造業	建材業界がかなり上向きになっているが、他の業界がそれほどでもなく、斑模様で一概に結論付けできないような状態である。
一般機械器具製造業	12月の報告は前年同月と比較し、全般的に売上高等は横ばい、一部仕入単価の上昇ありという報告を受けているが、全般的には不変という状況であった。その他としては相変わらず人手不足により納期問題、増産対応が難しいという報告も受けている。

各種商品卸売業	<p>・業況については前年同期と比較して大きな変化はなかったが、レギュラーガソリンの価格が前年同期と比較して約13%も上昇しており、営業車両をほぼ毎日利用する卸売業者にとってガソリン価格の上昇は大変厳しい。特に年末は納期等が迫り、車両の稼働時間も長くなるので頭が痛いところである。</p> <p>・食料品製造・卸業（海苔）では、地球温暖化による影響もあって原材料が高騰しているにも関わらず販売価格への転嫁が困難な上に、レギュラーガソリン価格同様燃料として使用している重油価格も上昇しており厳しい状況下にある。</p>
食肉小売業	<p>緩やかな景気回復ではあるが、売上が上がっているものの、原材料と経費・人件費が上がり収益が少ない状況である。</p>
各種商品小売業	<p>全体的に物販は厳しい月であった。小売業全体の景況が大型・中型共に苦戦の様子であり、新年に期待するところである。夜間の飲食店はやや好調であるが、一方で客数減の感もあり収益状況は良くなかった。</p>
各種商品小売業	<p>当施設のみ目を向けると、依然として厳しい状況が続いているが、市全体とすると、新駅の増設、新たな工業団地の誘致、公設市場の再開発など明るいニュースが多かった。相乗効果を上手く生み出せるよう、市民にとっての当施設の在り方というものをしっかりと考えていきたい。</p>
花・植木小売業	<p>前半は入荷量、相場ともに安定していたが、クリスマス、年末商戦を前にして菊類をはじめ、ストック、スナップ、カスミ草など多くの商材で品薄感が強くなり高値での取引となった。</p> <p>暮れの風物詩である松、千両の取引は年々減少している。歳暮需要のシンビ鉢やシクラメン鉢も近年減少傾向にある。一方、お正月家庭用の切花は店頭でよく動き、売上げが伸びたとの声が聞かれた。</p>
理容業	<p>時期的に顧客数は増加傾向にあり、売上高の向上につながっている。また、組合員脱退については足踏み状態にとどまっている。さらに、脱退防止策を思索し実行していこうと考えている。</p>
自動車整備業	<p>前年対比では売上増であったものの、1台当たりの単価は依然として減少傾向にある。</p>
ビルメンテナンス業	<p>現場作業員の人手不足が深刻化しており、採用活動を強化する必要がある。</p>
給食センター	<p>売上高は前年同月比では増減はなかった。今後、米や野菜等の値上げによりコストアップとなるが、新調理法で製造のシニア向け弁当の拡販等・コストダウンにより、収益は改善されていくと思われる。</p>
旅館・ホテル	<p>12月の宿泊者数は、前年比で約9割の宿が下回った。なお、年末年始も大雪に見舞われたせいかキャンセルが目立った。また、宿泊問い合わせも少なかった。</p>
旅館・ホテル	<p>宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。忘年会時期である、飲食店は年末までお客様が多かった。ホテル宴会は暦からか若干ばらついた感がある。</p>
内装工事業	<p>栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは70%減、敷物用ラベルは59%減、壁装用ラベルは26%減であった。本年4月～12月累計は、カーテン用ラベル36%増、敷物用ラベル25%増、壁装用ラベル29%増であった。4月～12月支給金額では28%増であった。12月は、カーテン前年比70%、敷物用59%、壁装用26%、いずれも減少であった。12月内装仕上げ工事が低調であった。</p>

一般貨物自動車運送業	受注増加傾向を示した事業所が増加した一方で、ドライバー不足により受注断念した事業所も多数みられた。稼働率を高めるのに苦心している。
貨物軽自動車運送業	12月度に入り、建設資材、原材料、食品関連貨物が堅調な伸びを示した。特に、海外向けの栃木県産苺（とちおとめ）や梨（にっこり）等の輸出量が増加し、収益状況を好転させている。但し、ドライバー（人手）不足により、受注に供給が追いつかず大きな機会損失を招いている。人手不足と高齢化対策に苦慮している状況である。
一般乗用旅客自動車運送業	昨年末等は、深夜までタクシーを待つお客様が多く見受けられる状況が続いており、売上も1割強ほど伸び景気が多少上向いている感もあるが、一方で運転手不足による稼働車両の減少もあるのでは…とも感じている。
大谷石採石業	前年同月日ではほぼ同じく推移した。短納期対応のため、加工材を増設したとの話もあった。